

質問者 ^{かわばた}川端 ^{ゆりな}優里菜 議員（12番）

1 これからの財源について

ただいまの^{かわばた}川端 ^{ゆりな}優里菜議員のご質問にお答え申し上げます。

これからの財源について、であります。少子高齢化の進行に対応するため、高齢者や子育て支援に必要な経費が増加する中、一方で、人口減少による市税収入の減少が見込まれるということで、収入が減り、支出が増えるという状況でありますので、財源をどうするのかということ、非常に大きな問題であると認識しています。

人口減少や少子高齢化が進むと、それに伴って必要な行政サービスの形も変わってきます。そうした変化に適切に対応し、事務や事業を見直し、経費の節減を図るため行財政改革を継続的に進めています。

また、公共施設についても、人口の構造や減少に応じて、機能や量を適正な状態にする、あるいは、不要となった施設や財産の利活用を行い、維持管理の経費を削減するとともに、財産活用による収入増を

図るための取り組みを行っています。現在、旧市役所跡地にホテルの建設が進んでいますが、これも市の土地を活用した収入増を図るための取り組みとなります。

このほかにも、必要な土地の確保や整備を行い、企業の進出を後押しする企業誘致は、市税収入の確保につながり、ふるさと納税制度を活用して、市外の人や企業から沢山ふるさと納税をしてもらえるように、仕組みを整備することで収入増につながります。

こうした取り組みにより、市独自の財源確保を図りますが、行政サービスを維持するためには、国や県の補助金、地方交付税など、いろいろな制度や財源も活用しなければなりません。これらも十分に活用し、トータルとして必要な財源を確保することで、新しく必要になる費用も賄っていくことが可能になると考えています。

以上申し上げまして、川端^{かわばた} 優里菜^{ゆりな}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。